

科目	生物基礎	単位数	2	学年	1	学級	A~I	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	-----	----	--------------

学習の到達目標	1. 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 2. 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。 3. 生物学的に探究する能力と態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書：実教出版 生物基礎 副教材：改訂版 リードLight ノート 生物基礎

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前	4	第1章 生物の特徴 1節 生物の共通性と多様性	・生物は多様でありながら共通性をもっていることを学習する。 ・生物に共通する性質は細胞であり、原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに学習する。
	5	2節 細胞とエネルギー	・生命活動に必要なエネルギーを作り出す代謝について、酵素がどのように関与しているのか、呼吸と光合成の概要とともに学習する。
	6	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	・DNAの構造や性質を理解し、DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を学習する。
	7	2節 遺伝情報の分配	・DNAが体細胞分裂の際に複製され、均等に分配されることを学習する。
後	9	3節 遺伝情報とタンパク質の合成	・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらのタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて、転写・翻訳の過程を経て合成されることを学習する。
	10	第3章 生物の体内環境とその維持	・恒常性により、体内環境が保たれていることを学習する。
	11	1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ	・自律神経とホルモンの作用により体内の恒常性が保たれていることを腎臓の仕組みや血糖量の調節機構から学習する。 ・細胞が病原体の侵入を防ぐために異物を認識し、排除するしくみを学習する。
	12	3節 免疫	・免疫に関わる細胞について取り上げ、体液性免疫や細胞性免疫について学習する。
	1	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移	・陸上には草原や森林などのさまざまな植生があり、植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを学習する。
	2	2節 気候とバイオーム	・気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立しており、構成要素である植物種は、その場所の気温や降水量に適応していることを学習する。
	3	3節 生態系と物質循環 4節 生態系のバランスと保全	・生態系において窒素などの物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを学習する。 ・生態系のバランスについて学習し、生態系の保全の重要性について認識する。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業への取り組み、授業ノートや課題プリント、定期考査	
	思考・判断・表現	定期考査, 実験レポート	
	観察・実験の技能	実験レポート, 定期考査	
	知識・理解	定期考査, 授業内の小テスト, 実験のレポート、課題プリント	
	評価方法	定期テスト 8割程度 平常点 2割程度 平常点の内容例 授業の取り組み 授業ノート 観察, 実験レポート 定期考査, 授業内小テスト 課題プリント 出席状況	
担当教諭から	化学の基礎的な知識が必要です。難しい内容が多いのですが、知的好奇心をもって学習に励んでください。		